

東京都における糖尿病医療連携の取り組み

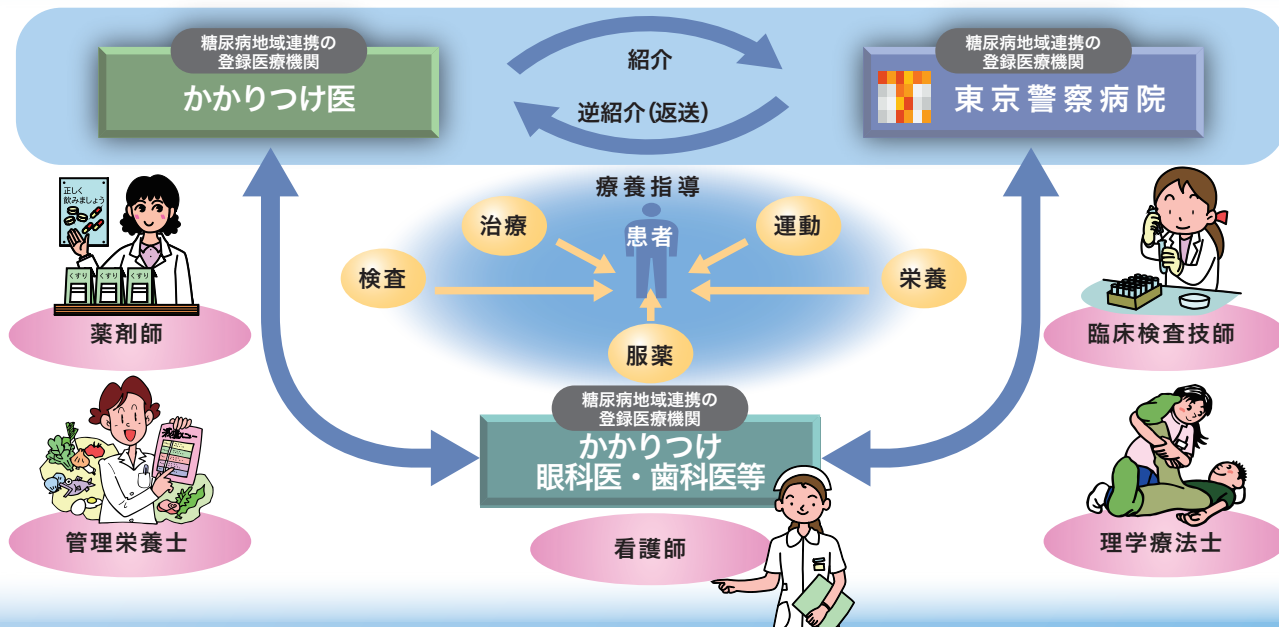
糖尿病の患者数は年々増加し、当院だけでなく、全国の病院の糖尿病外来は常に満杯の状況です。この状況を打破するため、東京都では糖尿病病診連携の取り組みを行っています。病院で治療方針を決め、安定したらかかりつけ医として開業医の先生に定期フォローをお願いする。将来コントロール悪化等問題

が起きたら開業医から紹介状をもらい、病院で再び軌道修正するというシステムです。病院と診療所両方が主治医となります。病院と診療所が効率的にその役割を果たすために、避けて通れないシステムになりますので、皆様にはご理解の上、ご協力よろしくお願いたします。



腎代謝科 部長
高澤 和永
[専門領域]
内科全般 内分泌・代謝
(糖尿病)
[主な資格]
日本内科学会 認定医
日本内分泌学会 評議員
・専門医・指導医
日本甲状腺学会 評議員

糖尿病医療連携のイメージ



東京都は、都民の誰もが身近な地域で、最適な糖尿病治療を受けられるように、「かかりつけ医」「専門医」「かかりつけ眼科医・歯科医等」による連携を推進しています。

東京警察病院では、「専門医」としてこの連携に参加し、糖尿病の患者さん一人ひとりにあった療養指導を行っています。